

天宮神社様 鳥居建立

静岡県周智郡森町の天宮神社様で、快晴の中、社殿内で神事が行われ鳥居復興の奉告祭および除幕式とくぐり初め式が執り行われました。平成30年の大型台風で倒れた鳥居の復興を天峰が施工させていただき、心より感謝を申し上げます。天宮神社様のご神木を伐採後3年半の間、天峰の倉庫で自然乾燥させ鳥居部材に木取り、墨付け刻みしました。もともと立っていた神明鳥居ではなく、天宮神社様本来の神明鳥居で製作しましたので、反りなどもとても美しいです。神社宮司様はじめ、総代さま、氏子の皆さまに大変喜んでいただき感謝無量です。



小島陣屋御殿書院

移築復元工事

静岡市指定有形文化財 小島陣屋御殿書院（静岡市清水区小島）は江戸時代中期に成立した1万石の大名、瀧脇松平氏の居所であり、御殿書院建物は宝永元年（1704）建立とされています。明治から大正にかけて小学校の職員室として利用され、昭和3年に小島公会堂として移築され使用されてきました。跡地の発掘調査と遺構により元の建物位置へ移築復元する工事を7月より着工し令和6年2月までの工期で施工しています。



移築再利用のため大工の手により丁寧に解体しています。

旧エンバーソン住宅

屋根修繕工事

静岡市指定有形文化財 旧エンバーソン住宅は1904年（明治37年）に建てられ木造2階建寄棟、一部に屋根窓を持ち南側にテラス、玄関に突き出したバルコニーのついた典型的な明治の西洋館で静岡市に残る本格的木造洋風住宅のひとつです。老朽化により移築復元され、市指定有形文化財に指定された県内に残る唯一の外国人宣教師住宅です。屋根葺き替えを含む修繕工事をメインとした保存修理を請け負っています。



屋根の木部修理が終わった状態です。